

第 2 回 三宮構想会議 議事要旨

項目	内容
開催日時	平成 26 年 10 月 29 日（水） 午前 10 時 00 分～午後 0 時 00 分
開催場所	神戸市役所 1 号館 14 階 大会議室
出席者	26 名（委員 22 名、オブザーバー 4 名）
議事の目的	三宮周辺地区におけるまちづくりの目標と方針（案）について自由に意見を交換する。
議事の内容	<p>■主な意見交換の内容</p> <p>○まちづくりの目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 方針は間違っことは書いていないが、神戸らしいインパクトに欠ける。 ・ 今回の方針はこれまでの意見等を踏まえた帰納的な成果であるが、帰納的な方法からは一般的な解しか出てこない。専門家による突っ込んだ案もあって帰納的方针との相互チェックを行うことが必要。 ・ 方針にソフト面でのまちの特性を感じるようにすべき。上質、エレガント、おしゃれ、異国情緒などは地元の方からよく聞くキーワードである。 ・ 方針の第一印象は他都市と変わらないということ。経済や商業がめざすべきもの、まちづくりの根本となる方向性を打ち出すべき。 ・ 全体の目標に「わくわく感」がほしい。 例えば）名古屋「世界に冠たるスーパーターミナル」など <p>○まちづくりの方針（案）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 歩いて楽しいまちにするために、歩く人をどのように集めるのかが重要。外資系企業等が三宮のまち魅力で立地を行うような経済的視点も含めて検討すべき。 ・ 三宮ではいかに「居心地のいい空間を創るのか」が重要で、他都市と違うのは地勢的なトポロジー（位相幾何学）を十分理解した上での「空間づくりのシステム」が特に重要である。このシステムにもとづき居心地いい公共・準公共空間を創出することが三宮の命題と考える。 ・ 働きやすい、住みやすい、学びやすいまちを市の資産をうまく活用して大胆に実施すべき。 ・ 重要課題は放置自転車である。また、道路のトランジットモール化、三宮を一望できる場所の整備、バスの集約化なども進めるべき。 ・ 三宮は歓楽街のため、一般市民が安心して歩ける防犯的な取り組みが重要である。 ・ 歩行者も大部分は自動車で来訪するため、自動車を大事にするまちづくりが重要。 ・ バスの集約化については、場所を決めてもらわなければ地元としての検討・提案ができない。 (次項へつづく)

<p>議事の内容</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 神戸はどこからでも山や海が見えることが特徴であり、これを継承すべき。 ・ 三宮東では放置自転車、大型バスが都市景観だけでなく防災面でも課題。 ・ エリマネに関しては、官民の役割分担や活動内容をしっかり議論しなければ成功が難しい。 ・ LRT は既存軌道がなければ採算的に難しく、BRT も大学キャンパスといった需要が必要である。 ・ 三宮の知名度は低い。駅名改称も選択肢の1つか。 ・ エリマネはしくみ次第のところがあり、三宮でのしくみのあり方を考えるべき。 <p>○今後の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 具体的な整備内容等を方針にもとづき、次回までに検討してほしい。その際には神戸らしさを盛り込んでもらいたい。また、実現に向けてのロードマップも十分考えてほしい。 ・ 三宮は中心の設定が難しいため、模式図ではなく地形図で考えることが重要。 ・ コンセプトワークだけで神戸らしさを出すのは難しく、どうやって空間づくりをしていくのか検討しながらコンセプトに反映させるやり方が必要と感じる。How を手法、スケジュールの観点で考えるべきではないか。 ・ 構想たたき台を構想会議に提示してすぐにパブコメは時期尚早であり、構想会議でもう少し議論すべきはないか。 ・ できるところからというのは重要であり、動きを見せることが対内外的に重要。 ・ 再整備構想については、何を行い、どう進めるのかのスケジュール感が簡潔にわかればよいと思う。 <p style="text-align: right;">以 上</p>
--------------	--